歩掛参考見積募集要領

次のとおり、令和９年度　鹿沼地域地下水位観測等調査（仮称）に係る歩掛参考見積を募集します。

令和８年 11 月 27 日

独立行政法人水資源機構
渡良瀬川ダム総合管理所長　一ノ瀬　泰彦
（公印省略）

1. 目的

この歩掛参考見積募集は、渡良瀬川ダム総合管理所で予定している業務発注の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

なお、この参考見積募集に対してご応募いただくことをもって、業務発注の指名（若しくは競争参加資格）をお約束するものではありませんので、あらかじめご承知ください。

2. 参考見積書提出の資格

(1) 水資源機構における令和７・８年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
(2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
(3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成６年５月 31 日付け６経契第 443 号）に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

(1) 参考見積書は、別紙－１に示す業務内容ごとの作業項目毎に必要な技術者の人数を記載しご提出ください。
参考見積書の様式は問いませんが、記載例（別紙－２）を参考としてください。
(2) 提出期間
令和８年 11 月 27 日（金）から令和８年 12 月８日（火）までにご提出ください。持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後４時までにお願いします。
(3) 提出先
独立行政法人水資源機構　渡良瀬川ダム総合管理所長　一ノ瀬　泰彦　宛
【担当】総務課
〒376-0303 群馬県みどり市東町座間５６４－６
TEL　0277-97-2131
FAX　0277-97-3300
E―Mail　nyukei_watarase@water.go.jp
(4) 提出方法
参考見積書は、上記 3.(3)の担当者へ郵送又は FAX（いずれも社印があること）又はメール（PDF 等）により提出をお願いします。
なお、参考見積書を FAX 又はメールにより提出される場合は発信後、必ず、上記 3.(3)の担当者に電話にてご連絡ください。また、メールにより提出される場合で社印がないものについては、後日郵送又は FAX で社印を押印した

書面を提出していただく場合があります。

(5) 件名

令和９年度　鹿沼地域地下水位観測等調査（仮称）

4. 参考見積内容

(1) 業務作業項目、作業内容

本参考見積は、別紙－１に示す各作業を実施するための標準的な歩掛とします。

(2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、水資源機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(1)「業務作業項目、作業内容」を実施するために必要な技術者の人数を徴取します。なお、基準書で定義されている直接経費のうち、上記(1)を実施するために、電子計算機使用料の計上が必要な場合は、参考見積書に「電子計算機使用料＝直接人件費×○%」等を明記してください。

(3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和８年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合は、次に従い、書面により提出してください。なお、質問書の様式は問いません。

(1) 提出期間：

令和８年 11 月 27 日（金）から令和８年 12 月１日（火）までにご提出ください。持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後４時までにお願いします。

(2) 提出場所：3.(3)と同じ

(3) 提出方法：3.(4)と同じ

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和８年 12 月４日（金）から令和８年 12 月８日（火）まで

(2) 閲覧方法：ホームページに掲示します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

恐れ入りますが、参考見積提出者のご負担とさせていただきます。

8. 問い合わせ

ご提出いただいた参考見積書の内容について、こちらより問い合わせをさせていただくことがあります。

－　以　上　－

別紙－１

見積仕様書

第１節　概要

本歩掛参考見積にあたり、想定している主な作業内容は以下のとおりとしており、各作業の内容については、第２節以降の記載のとおりです。

水理・水質調査	１式
観測結果整理	１式
既存資料更新	１式

第２節　水理・水質調査

観測に使用する機器（携行型水位計、携行型水質計）は、受注者で準備するものとします。

2-1 地下水調査

1）地下水調査Ⅰ（見積単位：１回・１地点あたり）

既設井戸および既設地下水位観測孔における地下水位観測及び水質調査を行います。それぞれの観測方法等は以下のとおりです。

- 地下水位観測・・携行型水位計による観測（観測深度は、０ｍ～20m 程度です）
- 水質調査・・・・携行型水質計による水温、電気伝導度、pH の観測

2）地下水調査Ⅱ（見積単位：１回・１地点あたり）

既設井戸および既設地下水位観測孔における地下水位観測及び水質調査を行います。それぞれの観測方法等は以下のとおりです。

- 地下水位観測・・携行型水位計による観測（観測深度は、０ｍ～20m 程度です）
- 水質調査・・・・携行型水質計による水温、電気伝導度、pH、濁度の観測

3）地下水調査Ⅲ（見積単位：１回・１地点あたり）

既設井戸および既設地下水位観測孔に設置されている自記水位計のデータ回収を行います。データ回収の頻度、記録間隔等は以下のとおりです。

また、データ回収後は、携行型水位計による観測（地下水調査Ⅰ）結果との比較を行い、観測値の確認を行います。

- データ回収の頻度・・・２ヶ月に１回程度
- データの記録間隔・・・１時間ごと
- データの回収方法・・・ノート型パソコンによるデータ回収
  （ノート型パソコン及び回収ソフト、クレードル等は発注者が貸与）

4）地下水調査Ⅳ（見積単位：１回・１地点あたり）

既設の単孔多段式水圧計のデータ回収を行います。データ回収の頻度、記録間隔等は

以下のとおりです。

- データ回収の頻度・・・2ヶ月に1回程度
- データの記録間隔・・・1時間ごと
- データの回収方法・・・ノート型パソコンによるデータ回収
  （ノート型パソコン及び回収ソフト、インターフェースケーブルは発注者が貸与）

2-2 沢水調査

1）沢水調査Ⅰ（見積単位：1回・1地点あたり）

定点における沢水流量観測、水質調査を行います。それぞれの観測方法等は以下のとおりです。

- 沢水流量観測・・・断面流速法（断面と流速から求める流量観測）による観測
  （測定幅は0.2m～2m程度です。）
- 水質調査・・・・・携行型水質計による水温、電気伝導度、pHの観測

2）沢水調査Ⅱ（見積単位：1回・1地点あたり）

定点における沢水流量観測、水質調査を行います。それぞれの観測方法等は以下のとおりです。

- 沢水流量観測・・・容器法（容器を用いた流量観測）による観測
- 水質調査・・・・・携行型水質計による水温、電気伝導度、pHの観測

3）沢水調査Ⅲ（見積単位：1回・1地点あたり）

定点に設置されている自記水位計のデータ回収を行います。データ回収の頻度、記録間隔等は以下のとおりです。

- データ回収の頻度・・・2ヶ月に1回程度
- データの記録間隔・・・1時間ごと
- データの回収方法・・・ノート型パソコンによるデータ回収
  （ノート型パソコン及び回収ソフト、クレードル等は発注者が貸与）

2-3 河川水調査

1）河川水調査Ⅰ（見積単位：1回・1地点あたり）

定点における河川水位観測、水質調査を行います。それぞれの観測方法等は以下のとおりです。

- 河川水位観測・・・携行型水位計による観測
- 水質調査・・・・・携行型水質計による水温、電気伝導度、pHの観測

2）河川水調査Ⅱ（見積単位：1回・1地点あたり）

定点に設置されている自記水位計のデータ回収を行います。データ回収の頻度、記録間隔等は以下のとおりです。

- データ回収の頻度・・・2ヶ月に1回程度

- データの記録間隔・・・1 時間ごと
- データの回収方法・・・ノート型パソコンによるデータ回収

（ノート型パソコン及び回収ソフト、クレードル等は発注者が貸与）

第 3 節　観測結果整理（見積単位：以下に記載したとおり）

水理・水質調査の観測データの整理を行います。なお、データ整理の際には、既存データと合わせて整理を行います。データ整理の項目は以下のとおりです。

- 水位観測データ（携行型水位計による観測データ）（見積単位：100 データあたり）
- 水質調査データ（携行型水質計による観測データ）（見積単位：100 データあたり）
- 自記水位計データ（自記水位計の記録データ）（見積単位：100 データあたり）
- 単孔多段式水圧計データ(多段式水圧計の記録データ)(見積単位：100 データあたり)
- 沢水流量観測データ（断面流速法による観測データ）（見積単位:100 データあたり）
- 沢水流量観測データ（容器法による観測データ）（見積単位：100 データあたり）

※自記水位計データ、単孔多段式水圧計データについては、1 回のデータ回収で、24（毎正時）×60（2 ヶ月）＝1440　程度の計測値が回収されますが、1 回のデータ回収で取得できる単位を 1 データとします。

第 4 節　既存資料更新（見積単位：１式あたり）

鹿沼市内の 4 地域(A,B,C,D 地域)を対象として、本業務の調査結果と過去の調査結果(平成 15 年度から令和 8 年度まで)の水理・水質調査結果の総合的なとりまとめ資料(地下水位や沢水流量、河川水位、水質調査結果の考察)の更新を行います。

4 地域の観測地点数は以下のとおりです。

なお、既存資料及び過去の調査結果は、発注者より貸与します。

- A 地域・・・5 地点
- B 地域・・・4 地点
- C 地域・・・3 地点
- D 地域・・・5 地点

以　上

（参考）歩掛等参考見積　様式記載例

別紙－2

【直接調査費】

地下水調査Ⅰ（地下水位観測、水質調査(水温、電気伝導度、pH)）　〔1回・地点あたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			
機械経費						
	携行型水位計		式	1		
	携行型水質計		式	1		

※ 機械経費については、作業に必要となる機器の損料を計上してください

※ 移動時間を含まず、現地における作業のみを対象としてください

地下水調査Ⅱ（地下水位観測、水質調査(水温、電気伝導度、pH、濁度)）　〔1回・地点あたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			
機械経費						
	携行型水位計		式	1		
	携行型水質計		式	1		

※ 機械経費については、作業に必要となる機器の損料を計上してください

※ 移動時間を含まず、現地における作業のみを対象としてください

地下水調査Ⅲ(自記水位計のデータ回収、地下水調査Ⅰとの結果比較)　〔1回・地点あたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			

※ 機械経費については、作業に必要となる機器の損料を計上してください

※ 移動時間を含まず、現地における作業のみを対象としてください

地下水調査Ⅳ(単孔多段式水圧計のデータ回収)　〔1回・地点あたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			

※ 機械経費については、作業に必要となる機器の損料を計上してください

※ 移動時間を含まず、現地における作業のみを対象としてください

沢水調査Ⅰ(沢水流量観測(断面流速法)、水質調査(水温、電気伝導度、pH))　〔1回・地点あたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			
機械経費						
	携行型水質計		式	1		

※ 機械経費については、作業に必要となる機器の損料を計上してください(流速計については計上不要です)
※ 移動時間を含まず、現地における作業のみを対象としてください

沢水調査Ⅱ(沢水流量観測(容器法)、水質調査(水温、電気伝導度、pH))　〔1回・地点あたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			
機械経費						
	携行型水質計		式	1		

※ 機械経費については、作業に必要となる機器の損料を計上してください
※ 移動時間を含まず、現地における作業のみを対象としてください

沢水調査Ⅲ(自記水位計のデータ回収)　〔1回・地点あたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			

※ 機械経費については、作業に必要となる機器の損料を計上してください
※ 移動時間を含まず、現地における作業のみを対象としてください

河川水調査Ⅰ(河川水位観測、水質調査(水温、電気伝導度、pH))　〔1回・地点あたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			
機械経費						
	携行型水位計		式	1		
	携行型水質計		式	1		

※ 機械経費については、作業に必要となる機器の損料を計上してください
※ 移動時間を含まず、現地における作業のみを対象としてください

河川水調査Ⅱ(自記水位計のデータ回収)　〔1回・地点あたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			

※ 機械経費については、作業に必要となる機器の損料を計上してください
※ 移動時間を含まず、現地における作業のみを対象としてください

水位観測データ整理　〔100データあたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			

※携行型水位計による観測データの整理です
※1回・地点の観測により得られる結果を1データとします

水質調査データ整理　〔100データあたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			

※携行型水質計による観測データ(水温、電気伝導度、pH)
※1回・地点の観測により得られる結果(水温、電気伝導度、pH)を1データとします

自記水位計データ整理　〔100データあたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			

※1回・地点のデータ回収作業により得られるデータを1データとします
※データ回収の頻度は2ヶ月に1回程度、計測頻度は1時間毎です

単孔多段式水圧計データ整理　〔100データあたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			

※1回・地点のデータ回収作業により得られる水圧計1つあたりのデータを1データとします
※データ回収の頻度は2ヶ月に1回程度、計測頻度は1時間毎です

沢水流量観測データ整理(断面流速法)　〔100データあたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			

※1回・地点の観測により得られる結果を1データとします

沢水流量観測データ整理(容器法)　〔100データあたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	地質調査技師		人			
	主任地質調査員		人			
	地質調査員		人			

※1回・地点の観測により得られる結果を1データとします

【直接業務費】
既存資料更新　〔1式あたり〕

項目	名称・規格	条件	単位	数量	金額	摘要
直接人件費						
	主任技術者		人			
	理事、技師長		人			
	主任技師		人			
	技師(A)		人			
	技師(B)		人			
	技師(C)		人			
	技術員		人			